学校番号	3002

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

動物飼育・栽培管理、畜産物加工における総合的な技術や動物の活用について、体験的に学ぶ実習科目です。動物飼育・栽培管理、畜産物加工における知識および技術について、その役割を理解し、繰り返し活用することによって確実に習得しましょう。実習のなかで自ら管理の手法に関する課題を発見し、その解決のために、作業内容の記録と振り返り、疑問点の相談や実習のまとめなどを大切に、作業体系の改善について考察し、仲間と協力するなどして、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】学科目標１
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】学科目標３
農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】学科目標２・４・５
農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	動物飼育・栽培管理や畜産物加工における総合的な知識を身に付け、それらに関する知識や技術の体系を理解し、作業の順序、組み合わせとその管理及び技術の実践的な役割について科学的な根拠に基づいて、理解するとともに関連する技術を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工における専門技術とそれらに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、総合的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。飼育管理における作業体系の改善に向けて、課題を発見し、創造的に課題を解決する能力を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工における専門技術に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的かつ協働的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。飼育管理では、管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	栽培と飼育、環境等に関する実習	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の知識と技術	a: 動物飼育、環境等に関する知識を理解するとともに、総合的な技術を身に付けることができる。 b: 動物飼育、環境等の知識と技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 c: 動物飼育、環境等に関する専門的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	実技 学習状況の観察	実技 学習状況の観察	取り組み態度
	学校農業クラブ活動	実践的な農業クラブ活動	a: 飼育管理において、作業内容の記録や実習内容をまとめることができる。 b: 飼育管理の改善について、作業体系の改善に向けて考察することができる。 c: 農場での規則や飼養衛生管理、安全に意識を向けて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	定期レポート	定期レポート	定期レポート
2学期	動物飼育に関する産業現場等における総合的な実習	農芸祭における実践的な動物飼育・栽培管理、畜産物加工における総合的な知識と技術	a: 農業の産業現場等における経営の管理の手法について生産計画の企画、立案、生産の調整について、理解するとともに、総合的な技術を身に付けることができる。 b: 農業の産業現場等における総合的な知識と技術や、経営と管理の手法に関する課題を発見し、疑問点を相談するなどして、創造的に解決することができる。 c: 農業の産業現場等における総合的な知識と技術や経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	実技 学習状況の観察	実技 学習状況の観察	取り組み態度

	学校農業クラブ活動	実践的な農業クラブ活動	a: 飼育管理において、作業内容の記録や実習内容をまとめることから、動物飼育等の各分野に関する総合的な知識と技術や、作業の順序について理解することができる。 b: 飼育管理の改善について、作業体系の改善に向けて、課題を発見し、創造的に課題を解決することができる。 c:動物の飼育管理実習に見通しをもち、仲間と協力して取り組もうとしている。	定期レポート	定期レポート	定期レポート
3学期	畜産・栽培・食品製造に関する総合的な実習	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の専門的な知識と技術	a: 動物飼育等における総合的な経営の管理の手法について理解するとともに、総合的な技術を身に付けることができる。 b: 動物飼育等の各分野に関する課題を発見し、生徒自身が仮説を立て思考するなど、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 c: 動物飼育等の各分野に関する総合的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	実技 学習状況の観察	実技 学習状況の観察	取り組み態度
	学校農業クラブ活動	実践的な農業クラブ活動	a: 動物飼育等の各分野に関する総合的な知識と技術や、作業の順序、組み合わせとその管理及び技術の実践的な役割について科学的な根拠に基づいて、理解することができる。 b: 飼育管理において、作業内容の記録や実習内容のまとめから、これまでの学習を振り返り、課題を分析・考察し検証することができる。 c: 動物の飼育管理実習に見通しをもち、仲間と協力して取り組もうとしている。また、安全に意識を向けて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	定期レポート	定期レポート	定期レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度